

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針等＞

当社は「人間力」「社会力」「技術力」の3つの力を向上させることを理念として掲げています。道徳心を持ち、不平等なく他者を思いあう心を持つこと。また社会人としての責任と立場を忘れずクライアントが満足できるものを提供し業務、活動を通じて地域貢献を行うこと。そして技術者集団として技術力向上に努め、社員・地域の成長に努めてまいります。

＜今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績＞

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
□環境 ☑社会 ☑経済	社員の有給休暇取得維持のため、社内掲示板などを利用し定期的に啓発する。	有給休暇：年間13日以上取得	有給休暇：年間平均15.7日達成
□環境 ☑社会 ☑経済	ジェンダー、老若男女が活躍できる会社へ(意識改革)	講習、研修会を複数回受講する。	社内発表会時に2回受講を実施
☑環境 ☑社会 ☑経済	DX化に向けてドローンなどの積極的活用	ドローン、3D化に向けての機器・ソフトの購入	DX化推進のため合計4台の機器・ソフトを購入

- ・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

＜今期の評価＞

【振り返り】

- ・ジェンダーに対しての講習及び研修会を実施しているが、まだ一部の社員にしか浸透しておらず、意識改革までには至っていないのが現状である。
- ・DX化推進の一環として新たな機器やソフトの導入を進め環境は整ったが、業務の繁忙期と重なり導入後の共有が思ったようにできておらず、操作できる人材が限られている。

【来期の展望】

- ・今後も取り組みを続け、ジェンダーや年齢による固定観念をなくし、全ての社員が能力を発揮できる職場環境を確立できるようにする。
- ・社内全体で体制を整え、業務効率化と労働負荷軽減を両立し、持続可能なDX推進を通じてSDGsの達成に貢献できるような企業体制を目指す。

- ・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

＜次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標＞

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑環境 ☑社会 □経済	自社主体によるボランティア清掃活動の実施	毎年3回以上の実施
☑環境 ☑社会 ☑経済	子育て応援休暇(中学生以下の子供1人に対して年2日付与)制度周知率100%	子育て応援休暇取得率100%
□環境 ☑社会 ☑経済	地元での雇用創出により、地域経済に貢献する企業となる	地元採用者数：2人以上

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

- 県ふるさとサポーターとしての活動を今後も継続し、地域貢献いたします。
 - 所属協会の清掃ボランティア活動参加を今後も継続してまいります。
- 「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。